

会 議 録

会議名	平成 22 年度第 2 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 22 年 8 月 31 日（火）午後 6 時 30 分～8 時 15 分	
開催場所	八王子市こども科学館会議室	
出席者	委員	大村のり子、小野一之、田野倉宏和、田村知美、西嶋佳子、深栖義昭、藤岡換太郎、吉田幸子、山中幸生（50 音順）
	事務局	齋藤和仁生涯学習スポーツ部主幹（こども科学館担当）・渡辺徳康文化財課長・森融こども科学館主査・戸井晴夫郷土資料館主査、尾崎光二郷土資料館主査
欠席者	柿崎博孝	
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長及び副会長の選任について 2. 八王子市こども科学館及び八王子市郷土資料館の前期事業実施状況について 	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議次第 2. こども科学館事業実施状況 3. 郷土資料館事業実施状況 	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<p>1. 会長に小野一之委員、副会長に田野倉宏和委員を互選した。署名委員の順番を決定した。</p> <p>2. 八王子市こども科学館の前期事業実施状況について齋藤こども科学館館長から説明。つづいて八王子市郷土資料館前期事業実施状況について郷土資料館尾崎主査から説明。</p> <p>質疑応答</p> <p>小野会長 両館から説明がありました。ご意見をいただきたいと思いません。</p> <p>こども科学館の方はリニューアル以来、「国際天文年」、「ハヤブサブーム」それに加えて「化石」まで、順調に推移しているということで、喜ばしいことです。郷土資料館の方も限られたカードの中で地道な良い活動を続けていいいます。委員の方々の意見はいかがでしょうか。</p> <p>小野会長 田村委員</p> <p>田村委員 総合的学習の利用者が減少したということですが、小中学校のカリキュラムに変化があったのでしょうか。</p> <p>尾崎主査 ゆとり教育からの方向変換が影響していると思われます。</p> <p>小野会長 吉田委員</p> <p>吉田委員 平成 23 年度から学習指導要領が全面実施になります。総合的学習の時間の中で英語教育を取り組みますので、体験学習に重点を置く学校でないと郷土資料館の利用は減って行くと思います。こども科学館の方については、今回の改定で理科は重視され、八王子では 4 年生と 6 年生の時にプラネタリウムを見ることになるので、送迎のバスの活用を考え市内巡りと一緒に行くなど検討すると良いと思います。郷土資料館については、地域との結びつきを考えると良いと思います。</p> <p>小野会長 吉田委員さんのご指摘のとおり総合学習自体の揺り戻しみたいなこともあるでしょうし、テーマの拡散化ということもあると思います。博学連携というところ以外にも比重が行っている中で、受け入れ側としては厳しいところがあるかと思いますが、戦略等ありますか。</p> <p>尾崎主査 夏休み期間中の事業のPRのため、近隣の小学校に行き、目的、内容について説明を行いました。また、学校と協力について伺いましたが、夏休み期間中は学校としては難しいとのことです。</p> <p>小野会長 田村委員。</p>
-----------------------	--

	<p>田村委員 八王子の歴史入門講座については、応募状況が良かったとの報告がありましたが、今後の方向性についてどの様に考えていますか。</p> <p>尾崎主査 11月から第2金曜日に、「4テーマ、全4回」を一講座として開催します。来年度については、実施の方向で学習支援課と協議する予定です。</p> <p>田村委員 前回の募集の時に郷土資料館の名前が広報に出ませんでした。今回は郷土資料館の事業として掲載されるのでしょうか。また、抽選で漏れた方について救済策等を考えていますか。</p> <p>尾崎主査 広報のスペースの関係から受付を担当する学習支援課名での募集になります。抽選手続きの中での救済方法は考えていませんが、同じ講座を2回実施するなど検討したいと思います。</p> <p>藤岡委員 歴史講座を設定したことは良いことですし、実際に応募者が多かったということは、地元の歴史に関心が高いということだと思います。マスコミ的に言うと本屋さんには「八王子の歴史のまんが」等、八王子の歴史に関する本が山積みになっているので、ブームになっているのかと思われるのでタイムリーだったと思います。内容的には、最初に概略的に通史をやってもらったら良いのかと思いました。また、遺跡や古墳の場所を多く紹介していたが、出来た理由など本質をもう少し掘り下げた方がもっと興味を持たせることが出来て面白かったように思いました。共催ということであまり郷土資料館が目立たないという話もありますが、郷土資料館の学芸員が講師をしているので、PR的には効果があったと思います。こども科学館の方は素晴らしくて、ハヤブサ効果がこんなにあるとは思っていませんでした。平成21年に日食があって、平成22年にハヤブサがあって、次の年が怖いと思っています。生物多様性年でCOP10が名古屋でありますし、世界的に色々な動きがあって世論が盛り上がることと思いますが、生物多様性年について触れていないです。このままでは来館者が減ってしまうと心配されるが、平成23年度の戦略等考えていますか。</p> <p>斎藤館長 館の中でも来年度の心配をしていたところです。実は、今までの年間最高入館者数を記録した昨年度の記録を超える入館者数を確保できると思えるくらい来館していただいております。さらに、8月の入館者は15,000人になります。今まで努力し</p>
--	---

て来た結果であり、宣伝活動等を通じ入館者を確保したい。入館者数という意味からいうと学習指導要領で小学3年生、4年生、6年生と中学3年生に天文の学習があります。当館で学習投影をやっているのが、小学4年生と中学3年生です。小学6年生については、来年度は送迎用のバスの予算を確保したいと考えています。小学3年生については、バスの用意は出来ませんが、社会科の施設見学があります。学校側は雨天時や昼食場所の確保に苦労されているというお話を聞いていますので、小学3年生向けの番組があること食事場所や雨天時についても問題が無いことをアピールし、こども科学館をご利用いただけるよう売り込みをしています。今年度についても日食がないからと心配していましたが、ハヤブサがブームとなり関連する事業を開催して集客につなげることが出来ました。来年度もこども科学館に関することについて情報を収集して、逃さず関連する事業やイベントを開催できるように努めたいと思っています。ハヤブサが制作されるまでは、日本の制作会社で日本人の「性分」、「気性」に訴えるようなプラネタリウム用の全天周デジタル映画というようなものが作られず、アニメーションものが多く、天文や宇宙等科学に関するもの、プラネタリウムにふさわしい番組はありませんでした。しかし、ハヤブサのヒットにより「天文」や「科学」を題材としたプラネタリウム番組の制作に目が向き、番組数が増えれば選択の幅が広がります。また、それを待つばかりでなく、八王子市独自のオリジナル科学番組の制作に踏み込んで行けたら良いと考えています。来年度に向けての考えは以上です。

小野会長 斎藤館長から説明があったように、今年の好調はハヤブサのブームに支えられただけでなく、外の番組も好調であり、さらにハヤブサのおかげにより底上げされ、周辺に波及効果があり科学ブームが起こっており期待が持てる。また、他の類似館でも同じような状況であると考えています。

田野倉委員 現在、空の方に注目が集まっているのですが、日本には資源が少ないので、海洋資源を上映するのも良いと思います。番組の中に海洋生物や海洋底の話など海の番組も入れていただきたいと思います。専門家の藤岡委員もおりますので、生のお話を聞くこともできて良いと思います。

	<p>藤岡委員 生物の多様性は今年 10 月からなのですが、今関心の高いことは、日本の周りに、今まで考えていたより「種が多い」こと「世界中の 15%ぐらいいる」ことが、JAMSTEC と東大の共同研究で分かりました。来年は、国際森林年です。熱帯雨林だとかあまり分かっていない。海もそうですが、熱帯雨林など陸上の生物を含めたものを作れば良いのかと思います。今、人気を集めているのが「宇宙エレベーター」で、地球から何万キロも離れたところまでカーボンファイバーでステーションを作り、人を輸送した方がシャトルなどですよりコストがかからない。</p> <p>小野会長 大村委員。</p> <p>大村委員 プラネタリウムの平均入場者数を見ると、ハヤブサや銀河鉄道の夜の 53、38 に比べ、怪傑ゾロリ、ドラえもんは結構多いです。8 月分が入っていないにもかかわらず、子供向けの番組の観覧者が多いです。ハヤブサ、銀河鉄道の夜は、カップルなど大人だけの観覧者数を増やしますが、子供向けの番組は、子供とともに大人の観覧者を増やし、結果として観覧者増に貢献しています。子供向けの番組も充実させて行った方が入場者数を増やすには効果的であると思います。</p> <p>斎藤館長 サイエンスドーム八王子という愛称を使用していますが、元々は八王子市こども科学館なので、外の館に比べると来館者の年齢が低くなっており、アニメーションにお客さんが多くなっています。ただ、館自体が遊興施設ではなくて、子供たちに科学や天文について興味、関心をもってもらい、科学って「楽しいんだ」、「面白いんだ」ということを知ってもらうという本来的な目的があります。展示面積が狭かったり、展示物のリニューアルが出来ていなかったり、施設として十分でない部分もあり、これから変えて行かなければならない点があります。現在の客層では、幼児から小学 4 年生ぐらいが一番多いです。それ以上の年齢の子供たち、小学 5 年生から中学生、高校生に関心を持ってもらい、それに応えられるような館になることが命題となっています。もう一つ、本館だけの問題ではないのですが、小学生、青少年向けのイベントを企画しても参加するのは、小学 4 年生以下で、忙しくなる小学 5 年生以上の参加率は急激に落ちます。そういった現状はありますが、科学館としては、中学生、高校生を呼び込</p>
--	--

	<p>めるような施設になって行くことが長期的な課題と考えています。</p>
小野会長	深栖委員
深栖委員	<p>今の意見の方向で良いと思います。郷土資料館のデータを見ますと子供の利用者が少ないです。このままでは、ギリ貧となってしまいます。対策として郷土資料館とこども科学館とがタイアップしたイベントを計画し、夏休みに実施したら良いと思います。たとえば、午前中に郷土資料館でボランティアの紙芝居を見て、午後はこども科学館に移動してイベントに参加する。愛知の方の学校で織物というテーマでやっていたので、八王子でも「絹の道」や「八王子の織物」について実演をセットにして行くと八王子の歴史を理解できて良いと思います。子供の利用が多いこども科学館とタイアップして、夏休み期間中に家族で参加できるイベントを行うと郷土資料館の利用者の増加を図ることが出来ると思いますが、どのように考えていますか。</p>
尾崎主査	<p>郷土資料館利用者の現状ですが、学芸員のアドバイスを受けながら 1～2 時間かけて資料を調査する歴史に関心の高い大人の利用者が多くなっています。子供の利用者の多くは、小学 3 年生の社会科見学での利用と夏休み後半に宿題をやるための利用です。社会科見学についても以前は貸し切りバスの利用が多かったが、最近は電車や路線バスの利用が多くなりました。今後は、来館される学校が限られるようになることも考えられますので、まずは、周辺の学校を中心に働きかけ、郷土資料館が出来ることを知ってもらい、口コミで広げるようなことも必要と考えています。また、こども科学館では館内で食事が出来るが、郷土資料館ではスペースの関係から館内で食事が出来ないことなどありますので、館に合った方向から集客につなげることを考えて行きたいと思います。</p>
深栖委員	<p>子どもの利用が多いこども科学館とのタイアップしたイベントを開催することが、郷土資料館の利用者を増やすためには、より効果があるのではないかと考えて、提案いたしました。よろしくご検討方希望いたします。</p>
小野会長	山中委員。
山中委員	<p>今話しにあった、夏休みの宿題をやりに来るというのを逆にとって、そういった講座にしても良いのかと思います。一日</p>

	<p>行けば自由研究のテーマの資料が出来るし、持帰れば宿題として提出出来るというような講座にしてしまうと、お昼またぎにして郷土料理を食べて体験してもらうというような講座とあわせて一日の講座にして夏休みだからこそ出来るものにしたら面白いと思います。</p> <p>小野会長 西嶋委員</p> <p>西嶋委員 小田原には、尊徳記念館というのがありまして、二宮尊徳に子供たちも幼稚園から小学校低学年まで非常になじんでいます。尊徳記念館に行きますと昔話の本があったり、昔の遊びが出来たり、尊徳祭りをやったり地域の人を呼びよないいろいろなイベントも開催しています。幼稚園の学芸会とか小学3年生の歴史の授業の中で発表する時も子供たちが二宮尊徳を取り上げて自発的にやるようになっていきます。核になるものがあり、子供を呼び易い気軽に立ち寄り易い図書館みたいなものがあったら利用者も多くなってくのではないかと思います。</p> <p>小野会長 事務局</p> <p>尾崎主査 郷土資料館の夏休み中のイベントに、「火起こしと縄文土器作り」があります。最初に、館内の展示を見学しながら古代から現在までの八王子の歴史を学んだ後に、古代の方法で火起こし体験を行い、午後に縄文土器作りを行います。出来上がった土器を後日持ち帰り、夏休みの宿題として提出しているようです。一日がかりの体験教室で大変人気があります。また、戦争体験を聞く講座を継続して開催しています。この講座は戦争体験を体験者から直接聞くことが出来る貴重な講座ですが、募集定員を満たさない時は、近隣の二つの小学校に声をかけ参加者を募集しています。戦闘体験を聞くことが苦痛な子供も見られますが、終了後に行う「機織り」や「車人形」の体験はみんな喜んで参加しています。この二つの事業が、お二人の委員さんからいただいたご意見を表していると思います。夏休みだから出来る講座、子供たちが参加し易い、参加したいと思う講座を行いながら郷土資料館として伝えるべきことを伝えるような事業を考えたいと思います。</p> <p>小野会長 吉田委員</p> <p>吉田委員 八王子の小学校でこどもたちに体験させることが難しいのは、海に関心を持たせることと林業についてです。以前は、</p>
--	---

臨海学校、林間学校があり、共通体験を手がかりに授業をしていましたが、現在は、70校中1割もなく、家庭にまかしている状況です。しかし最近では、家庭でも海水浴よりプールが多く、海についてどう取り組んでいくかという課題があります。イベント等があれば、活用したいところです。林業の方は、体験というのが難しい状況だったのですが、高尾の森林センターの方から売込みがありまして、センターの方が、学校の木を全部調べ、高尾との関係はどうなっているのかを説明する出前授業で、八王子の一部ということを実感し、学習を深めました。海と浅川をつなげたものが欲しいところです。体験をしていない子供たちには、実際に体験させ、色々な概念を作りながら成長していってほしいと思っています。講座「八王子の歴史」を毎回楽しみにしています。「八王子の」にこだわって、子供たちにどのように伝えていくのかを視点に聞かせていただいています。多摩御陵も現在の古墳という説明があり、天皇のお墓ということだけではないアプローチの仕方でした。見つけられることが少ない「小銅鐸」等珍しいものが八王子にある。そういった郷土愛のようなところから広げていく、なるべく子供たちの生活に関連付けられるような橋渡しをしてくれるイベントが欲しいと思います。去年、こども科学館が星の名前を募集したことがありました。あの時は、車田委員の天狗の話の説明とプラネタリウムを投影しながら付けた星の名前について説明がありました。このように両館が共同で行うイベントが出来れば良いと思います。ぜひ、林業、水産業についても取り組みをお願いします。

小野会長 山中委員

山中委員 今日久しぶりにバスに乗ってきましたが分かり難かったです。駅前から乗ってきましたが、細かくて見にくかったです。時刻表の下の方に書いてあり、大人が目線より低く子ども目線になっています。入場者の交通手段はどうなっているのか。問合せが来る場合は公共手段を利用することが多いと思いますので、バスの場合は、大人が多いのであれば、大人目線の位置に、こどもが多いのであれば、漢字を無くして平仮名にし、読み易くするなど、載せれば良いのではなく、折角載せるのであれば、もう少し心配りをした方が良いのではないのでしょうか。子供がここに来る時には、バスなのか自転車なの

	<p>か、子供だけなのか大人と一緒になのか、館としては把握していますか。</p>
齋藤館長	<p>交通手段については、聞いてはおりません。駐車場がありますので車で来る方が多いようですが、公共交通機関を利用される方も多いです。動向だけを見ますと家族連れで子供のいる場合は車が第一優先ですが、公共交通機関を利用する方もかなりいます。また、大人だけの場合は公共交通機関を利用される方が多そうです。</p>
山中委員	<p>今日分かりにくかったのは、同じ行き先のバスが何系統も来ることです。系統が入り組んでいて、始めて来た人には分かりにくいかと思います。バス会社の意向もありバスの表示を変えることは難しいと思いますが、時刻表のところだけでも分かりやすくすれば、お客さんは来やすくなると思います。</p>
齋藤館長	<p>バスについては、本数が多く待ち時間は長くとも 10 分程度なのですが、路線の系統が多くて分かりにくいということが確かにあります。八王子駅北口の 12 番のバス停から出のですが、12 番から出る系統は 10 数系統あります。その内サイエンスドームを通るのが 7~8 系統ありますで、電話等での問い合わせには、運転手さんに「サイエンスドームを通るか」確認していただくように案内をしています。バス会社において、12 番のバス停がサイエンスドームを通るバスだけになれば良いのですが、難しいのが現状で、今お話ししたような対応をさせていただいております。</p>
小野会長	<p>吉田委員</p>
吉田委員	<p>はちバスが「サイエンスドーム」、「郷土資料館」、「夢美術館」を通る「夏季限定の文化コース」を提案することは出来ないでしょうか。</p>
齋藤館長	<p>はちバスに関係する所管もありますので、相談は出来ると思います。</p>
渡辺課長	<p>はちバスについては、交通機関の少ないところを回るのが基本にありますので、バスの本数が多いところには寄らないというのが原則です。相談は出来ますが厳しい面があります。</p>
田村委員	<p>11 月 14 日、市民会館で開催される「八王子車人形と民俗芸能の公演」の時に、郷土資料館では何か予定されるのでしょうか。</p>

	<p>渡辺課長 この民俗芸能のイベントの中で、郷土資料館のガイドボランティアが協力して、車人形に触れる体験コーナーを行う予定です。</p> <p>尾崎主査 10月19日から12月19日までの2ヶ月間、特別展「江戸時代に描かれた多摩の風景」を開催します。</p> <p>小野会長 多彩な意見をいただきました。子供をターゲットにした取り組み。両館の連携。郷土からの発想。という視点から意見が出ました。事務局におかれては、これらの意見を踏まえて、事業に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>以上で、第2回博物館協議会を閉会します。</p>
--	--

